　組合員のみなさん、明けましておめでとうございます。

　さて、公務公共サービス労働者を取り巻く課題は多岐にわたりますが、まずは、賃金・労働条件の改善です。物価上昇が続く中で、公務員も含めた労働者の処遇改善を勝ち取ることが重要であり、春闘を起点に秋の確定闘争まで粘り強く取り組みを進めていくことが必要です。また、コロナ禍で公共サービスの脆弱性・人員不足が浮き彫りとなりました。「誰もが安心して働き生活できる社会」を実現するため、公共サービスの重要性を広く訴えるとともに、非常時対応も踏まえた必要な人員、財源の確保にむけた取り組みの強化が必要です。

　さらに、2025年７月の第27回参院選に、「岸まきこ」参議院議員を、自治労組織内候補として再度擁立することを決定しました。公共サービスの現場の最前線で働く労働者の声を政策に反映させるためにも、自治労の代表を国会に送り出していく必要があります。

　2024年は辰年、「活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年」と言われています。「声を力に、一歩前へ」をスローガンに、課題の前進にむけて先頭に立って運動にまい進する決意です。組合員の皆さん、ともにがんばりましょう。

全日本自治団体労働組合

中央執行委員長　石上千博